



# 議会だより

No.13

発行責任者：南魚沼市議会議長 峠 佳一 編集：議会広報編集特別委員会

- 12月定例会の傍聴者 **53人** (延べ) でした



婿の胴上げ (八坂神社)



ゲレンデ結婚式 (石打丸山スキー場)

新しい議会構成	2 ページ
市長所信表明	3 ページ
一般会計補正予算	4 ページ
20議員が一般質問	6～15 ページ
主な議決結果	16 ページ

# 新しい議会構成が決まりました

## 就任のあいさつ



議長  
峠 佳一

余寒なお厳しい折、市民の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年11月、松原議長の後任として議長に就任いたしました。責任の重大さを感じ、日に日に身の引き締まる思いであります。

議会といたしましては、市の財政が厳しい中、皆様の生活の安定を第一に、負託と期待にお応えできるよう懸命に努力していきます。

また注目されている基幹病院についても、1月に魚沼市議会・湯沢町議会と共に泉田県知事に、一日も早い着工を要望してまいりました。今後の対応に期待するところであります。

来年の大河ドラマ「天地人」も放映に向け、ますます盛り上がりを見させていただきますが、議会も支援をしてまいります。

今後とも議会に対し、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

## 元気な南魚沼市に



副議長  
和田 英夫

昨年の11月12日の臨時議会において副議長の要職に就任致しました。合併して3年の南魚沼市、地域交流・市民交流による地域差のない一体的な行政の推進が必要であります。

ご承知のように、大河ドラマ「天地人」・基幹病院構想・学園都市構想、更には財政問題等多様な課題もあり、地域の代弁者としての議会の責任は極めて重要です。

議会は具体的政策を最終的に決定し、その政策が市民のために適正・公平・民主的になされているかを、正しい意味での批判と監視、更に市民の立場での提案をする事も使命です。

峠議長のもと、議会が公正かつ円滑に運営されますよう全力で努めてまいります。市民各位のご指導ご支援の程、お願い致します。

本年もよろしくお願い申し上げます。

	委員長	副委員長	委員	主な役割
議会運営委員会	角谷 英一	笛木 信治	幸夫 昭和人 関野 樋口正 美彦 晃夫 久友 充 井口 越村	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会運営に関する事項</li> <li>議会の会議規則、委員会に関する条例等の事項</li> <li>議長の諮問に関する事項</li> </ul>
常任委員会	笠原喜一郎	南雲淳一郎	幸晶 晃一郎 常野 越村 関野 昭松 剛力 夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務部、市民生活部税務課、会計課、教育委員会、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会、および他の委員会の所管に属しない事項の調査</li> </ul>
	樋口和人	今井久美	幸夫 昭和人 高橋 郁三 井上 正夫 阿部 英正 寺友 充夫 宮田 俊夫 阿部 俊夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設部、産業振興部、企業部、農業委員会の所管に関する事項の調査</li> </ul>
	牛木芳雄	山田 勝	久夫 昭和人 阿部 俊夫 中沢 若井 一博 治一 博 信 道 沢 信 道 中 若 井 角 谷 英 一 松 原 良 道	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民生活部（税務課を除く）、福祉保健部および福祉事務所、ゆきぐに大和病院および城内病院の所管に関する事項の調査</li> </ul>

# 市長所信表明（抜粋）



井口市長

市制施行から3年、生南魚沼市の誕生から2年が経過し、この間、一日も早い一体感の醸成と新市の土台づくりとともに、市政の安定を図るべく粉骨砕身努めてまいりましたが、皆様から多大なご支援・ご協力を賜り、着実にその歩みを進めることができました。

依然として厳しい経済情勢で、自治体への試練がさらに増している中であって、当市は平成18年度から5か年の財政健全化計画を策定し、議員各位のご協力をいただきながら人件費をはじめとする歳出削減を図ってきた。また、本庁舎方式や部制の導入により、目標とする効率的で機動性を有する機構の構築にも取り組んできました。

少子高齢化への対応、地方分権の推進、住民福祉の充実など課題は山積していますが、行政・議会そして市民の皆様が心を一つに英知を結集し、創意と工夫により課題を一つひとつ着実に解決していくことにより、必ずや目的が達成できると確信しています。

平成20年は、「大地人」に向けた取組みを進めるとともに、市民の心の中に生き続ける「南魚沼市の歌」の制定をはじめとした、様々な分野での施策を講じてまいります。

今後一層、行財政改革を進め、市民の皆様の声をお聴きしながら、生涯

## 財政健全化目標額が変更になりました

単位：百万円

健全化項目	現計画	変更後の目標額					総額
		18実績	19計画	20計画	21計画	22計画	
人件費の抑制	2,400	396	585	709	633	762	3,085
内部経費の削減	700	104	152	165	175	175	771
投資的経費の抑制	1,100	237	134	350	140	126	987
行政水準の明確化	1,600	81	103	103	103	103	493
繰出金見直し	500	208	246	242	227	227	1,150
公債費の削減	0	0	0	54	85	112	251
歳入の確保	600	50	67	63	86	97	363
<b>合計</b>	<b>6,900</b>	<b>1,076</b>	<b>1,287</b>	<b>1,686</b>	<b>1,449</b>	<b>1,602</b>	<b>7,100</b>

をこの地で安心して過ごすことができる、「地域完結型社会」の実現のために全力を傾注してまいりますので、格段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 意見書提出しました。

防災・生活関連整備の地域間格差をなくし、安全安心な公共事業を国の責任で実施することを求める意見書の提出について

保険でよい歯科医療の実現を求める意見書の提出について

米作農業の「農業所得確保政策」の実施を求める意見書の提出について

道路整備財源の制度堅持に関する意見書の提出について



# 平成19年度 一般会計補正予算(第3号)

7億1,058万1千円追加し、  
総額287億7,011万9千円となる。

(万円未満切り捨て)

## 歳入(主なもの)

- ・ 保育園入園費負担金(途中入園者の増による)……………1,235万円
- ・ 生活保護費負担金(対象者が少ないため)……………△1,200万円
- ・ 地域生活支援事業等国庫補助金(補助金の決定による)……………1,067万円
- ・ 重度心身障害者医療費助成事業県補助金(支出の増による)……1,299万円
- ・ 強い農業づくり県交付金(事業の確定による交付金の決定)……△1,608万円
- ・ 林道開設事業県補助金(事業の確定による)……………△1,086万円
- ・ 特用林産物活用施設等整備事業県補助金  
(事業の確定による)……………△7,847万円
- ・ 新潟県議会議員一般選挙交付金(額の確定による)……………△2,775万円
- ・ 合併振興基金繰入金(繰上償還の財源に充てるため)……………93,000万円
- ・ 合併特例債(対象事業の決算見込みによる)……………△8,200万円

## 歳出(主なもの)

- ・ 職員費(人事院勧告によるもの2,300万円。  
職員異動などによるもの1,900万円)……………4,200万円
- ・ 心身障害者医療費等助成事業(対象者及び医療費の増による)……2,598万円
- ・ 魚沼荘大規模修繕事業費(計画の見直しによる減)……………△1,442万円
- ・ 乳幼児医療費助成事業(県単)(助成対象の拡大による)……………1,085万円
- ・ 常設保育園保育費(途中入所者の増による)……………1,935万円
- ・ 生活保護費(被保護者及び高額医療扶助費の減による)……………△1,554万円
- ・ 水田農業構造改革対策推進事業(実績見込みの減少による)……△1,621万円
- ・ 経営構造対策施設整備事業(事業の確定による)……………△1,668万円
- ・ 特用林産物活用施設等整備事業(事業の確定による)……………△7,847万円
- ・ 教育特区事業(教育特区のテキスト作成のため)……………252万円
- ・ 繰上償還(市債の繰上償還による)……………93,381万円
- ・ 予備費……………△463万円

# 補正予算 質疑

(抜粋)

**問** 学童保育協議会をNPO法人化することの意義は。職員の待遇は。市からの補助は。

もらったので、もう少し関わりを強くしていきたい。

あと4から5年する  
と不足するようになる。

**答** 将来的には法人化するとして進んでいきたい。NPO登記をして法人として認知して独立性を持つてもらう。学童だけではなく、ファミリーサポートセンターを併せて担っていききたい。

障害を持った子が年々増え、逆に親が気を持たない場合もある。学校とは違った接し方をしている。体制作りを検討している。

**問** ハード面の対応は調整してやるが、無駄のない効果のあるものをやう。

調整役として1月から推進室を新設し、専任職員2名を配置する。市長直轄とする。任期はドラマ終了までとする。専門職が必要な時には検討する。

**問** シイタケハウスが30棟ほぼ完了したが、大幅に予算減額している。どうしたことか。

職員手当で人事評価制度を取り入れるとしているが、職員のやる気・能力給とすべきと思う。いつごろから評価をするのか。

**答** J A魚沼みなみの見積もりで入札をしたが、結果的に安くできた。

**問** 可燃ごみスラッグの利用はどうなっているのか。ストックヤードを作っても捨てるようならおかし。毎日どれくらい出て、今どれくらいあるのか。

**答** 不況の影響かどうかまでは分析していない。分別廃プラは直接搬入でリサイクルセンターで受け入れている。燃料化については研究する。

**問** 借金の繰上げ償還、そして軽減分の活用はどうなるか。

**問** 燃料費は直接的なものと考えるが、高騰による市の経費への影響があるか。

**答** ガソリン・灯油等で、1千800万円の影響がある。

**問** 安全を考えると大切だが、負担額の多寡ではない。120戸予定のところ現在19戸しか利用していない。建築士会から協力をいただいているが、PRしても増えない。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、

**答** シイタケハウスの新築が30棟ほぼ完了したが、大幅に予算減額している。どうしたことか。

**問** 木造住宅耐震診断の申請が120戸を予定していたところ50戸分に減額修正だが、安全安心の観点からするとどうか。

**答** 安全を考えると大切だが、負担額の多寡ではない。120戸予定のところ現在19戸しか利用していない。建築士会から協力をいただいているが、PRしても増えない。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、

**問** 燃料費は直接的なものと考えるが、高騰による市の経費への影響があるか。

**答** ガソリン・灯油等で、1千800万円の影響がある。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、

**問** 燃料費は直接的なものと考えるが、高騰による市の経費への影響があるか。

**答** ガソリン・灯油等で、1千800万円の影響がある。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、

**問** 燃料費は直接的なものと考えるが、高騰による市の経費への影響があるか。

**答** ガソリン・灯油等で、1千800万円の影響がある。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、

**問** 燃料費は直接的なものと考えるが、高騰による市の経費への影響があるか。

**答** ガソリン・灯油等で、1千800万円の影響がある。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、

**問** 燃料費は直接的なものと考えるが、高騰による市の経費への影響があるか。

**答** ガソリン・灯油等で、1千800万円の影響がある。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、

**問** 燃料費は直接的なものと考えるが、高騰による市の経費への影響があるか。

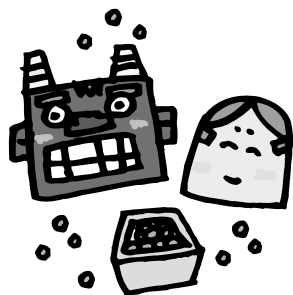
**答** ガソリン・灯油等で、1千800万円の影響がある。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、

**問** 燃料費は直接的なものと考えるが、高騰による市の経費への影響があるか。

**答** ガソリン・灯油等で、1千800万円の影響がある。

**問** 大河ドラマ関係で、事業全体のコーディネートはどうするのか。市長が実行委員長だが実務的に無理であろう。民間の利害関係のない人を用いるべきと思うが、



## 市長選挙と新年度 予算編成方針は

**答** 再度出馬し  
財政健全化に取り組む



若井 達男 議員

①新市が誕生して3年余りが経過した。市長の任期も残り1年を切った。平成20年11月には市長選挙が予定され

ている。本議場30名の議員、職員、そして6万3千人の市民に対して表明は。

②財政健全化、真っ直中。新年度予算編成に当たり、基本的な考え及び重点施策は。

**市長**

①再度市長選に立候補する決意である。

- ・南魚沼市の完結型社会の形成
- ・安心・安全で暮らせる

ための基幹病院問題への推進取り組み

- ・教育分野の充実、四年制大学の学部設置及び職場（知識型産業部門）の確保
- ・財政健全化の遂行
- ②重点施策は次のとおり。

- ・市総合計画に基づく中での財政健全化への確立
- ・教育特区の活用、耐震補強、学校統合、給食センター、学力向上

- ・子育て支援の充実
- ・コミュニティ事業の推進
- ・大河ドラマ「天地人」への取り組みによる市の活性化
- ・二巡目国体の取り組み



## 景観を守る 町づくりを

**答** 景観計画を策定して



関 常幸 議員

大和地区では、景観を大切にしたい町づくりを進めるために、精力的に勉強会を開催している。その中で、今一番懸念

していることは、八色の森公園付近や学園都市にふさわしくない看板、そして、けばけばしい色彩の建物。

また、八海山や駒ヶ岳の景観をそこなう高さの建物や住宅ができることだ。

来年、基幹病院の概要が見えてくると、企業の進出や不動産が動き、その動きは加速する。建物や建造物は、建てれば50年いや100年は存在する。

**市長**

3月議会で、私の質問に「景観行政団体」になると言明したが、取得が遅い。時期はいつか。

そして、「景観計画」を住民と一体となり作るべきで、その景観計画作成のスケジュールは。

「景観行政団体」になるために、今、県と協議を進めている。今年度末には県知事の同意が得られる予定だ。

昨年20年度から3カ年で、景観計画を策定する。その策定にあたっては検討委員会を設置し、市民の参加を得て策定する。



八色の森公園

## 職員の教育・ 研修について

**答** 研究し、検討する

**樋口 和人議員**

現在、南魚沼市では職員に対して、新採用時また各階層毎に民法や接遇などの職能教育を行っているようだが、今後行政

評価システムを取り入れ、その手はじめに各職員に自己評価をしてもらうとの事だ。

個人としても組織としても評価をするためには、目標を設定しその目標に届いたか、あるいはどれだけ近づいたのか、またその目標に向かってどれだけ努力をしたのかが大切だと考える。

そして、自らの責任で目標を定め、その達成に向かって自主的に行動し

ていくことが、行財政の健全化に欠かせないと考える。

そのための「自己啓発」や「能力開発」の研究を取り入れる考えはないか。

**市長**

職員が自主的に自ら考え行動することが、まさにこれからの行政に求められている事と考えている。現在もそういった研修に対しては、費用の助

成などを行っているが、この制度の周知を図り、さらに自己啓発等の研修が、市としてどう取り組めるのか、他の事例も研究しながら検討していく。



## 大和病院に 医師と看護師を

**答** 地域医療は市が責任を持つ

**寺口 友彦議員**

「基幹病院」という風評被害で六日町病院の医師が減った。大和病院にも影響がでている。外来診療だけでは病院はやっ

ていけない。市立病院の役割を明らかにした経営改善計画を、市長は後押しするべきだ。

**市長**

県立六日町病院の医師の減は風評被害ではない。大和病院は外来には限定しない。二次医療の大部分は六日町病院へ移し、地域医療は市が責任をもってやる。

基幹病院の概要は平成20年にはわかる。

## 行財政改革 について

**寺口**

借り換えにより、ういた利子32億円は全額借金返済に使われると聞き、安心した。公共工事の優先順位決定には緊急性が第一だ。野球場建設よりも、塩沢小・中の給食調理施設それぞれ改修が先だ。

**市長**

32億円は直接借金返済

にあてるのではなく、事業費の負担などへまわして、総体的に負担の軽減に役立てる。

塩沢のミニ給食センター建設は予定に入っている。野球場を作るから給食はやらないとは言っていない。給食センター運営委員会の答申が出たら検討する。



大和病院

## 地域開発センターの 管理運営方法について

**答** 市民主導に  
移行していきたい

今井 久美 議員

議会も行政も、地方自治法の冒頭に明記されている、「住民の福祉の増進を図る事を基本」として仕事をしていくべき

だ。

合併後、運営方法の違っていた地域コミュニティを標準化しようとする今、旧六日町で実施されたきた開発センターを中心とした運営方法は成果を収めており、他の地域においても、地域コミュニティ創出パイロット事業の成果も組み入れ、実践されるべきだ。大河ドラマ、国体、防災、地域福祉など、職員だけでは対応に無理がある

と恐れ、地域の協力が不可欠であり、そのためにも地域コミュニティは後退させることがあってはならない。

**市長**

基本は行政主導から民間主導、市民主導に移行していきたい。パイロット事業を活用し、分館事務、区長会事務を行う管理部門を中心に「地域づくり協議会」を設置して、全地域の取り組みとして

いきたい。  
性急に運べない部分もあり、意見を聞きながら、来年度は移行期間、平成21年度に新制度へ移行していきたい。



五十沢地域開発センター

## 清津川 試験放流について

**答** これ以上の放流量増は  
考えていない

牛木 芳雄 議員

東京電力の清津川水利権更新に伴い、流域住民や十日町市民の強い要望により、平成17年7月から清津川に試験放流して

いるが、その試験結果についての評価を問う。

①「清津川・魚野川流域水環境検討協議会」での現在までの調査結果について。

②魚野川流域にとって大事な水資源として水利権を得て農業をし、生活用水として利用している。平均毎秒0・56㍓試験放流しているが、私はこれ以上の増量は承服しかねるが、市長の見解は。

**市長**

①当時、中里村山本村長と私とで、県から立ち合ってもらい、放流量・期間を決めて協議会を立ち上げたものだ。今回の調査結果は報告の通り、環境的にはほぼ満足のいく結果が出た。

②東京電力も当然と思うが、私もこれ以上の放流量の増は全く考えていない。



東京電力湯沢発電所



## 教育用パソコンの整備は 少しでも安い方法で

**答** 再検討して進める



高橋 郁夫 議員

今年度435台を5年間のリース契約で、1台当たり9万4千円で整備したが、市内でも買取で6万8千円で整備された

所もあり、平成22年度までに整備される総数が1千200台とすると、5年間で3千万円以上の違いがある。

今、市内各団体の補助金を削減している中であり、教育用のパソコンにどこまでの機能が必要か、また少しでも安価に整備できる方法を、再検討しなおす必要があるのではないか。

また教員用の整備は平成22年度の予定だが、情

報管理の問題で以前にも

もニュースで取り上げられたが、個人のパソコンを使用している事が、たいへん心配されている所だ。現在貸与されていない教員への配備を優先に考えるべきである。

また、保守・サポート体制の年間委託料はいくらか。実際に学校側からの依頼は年間何件あったか。

**教育長**

今後更新する際は、どのような目的を持って学校に整備するのか、また少しでも安くあがる方法を再検討して進めるが、教員用については課題もあり、すぐにはできない。保守・サポート体制の年間委託料は1校当たり19万円で、年間の依頼は276件であった。



パソコンルーム

## なぜ今、 野球場建設なのか

**答** 市民に夢と希望を  
持つてもらったため



笠原喜一郎 議員

プロ野球の試合ができる野球場を大原運動公園につくりたい。平成22年度調査設計、平成24年度建設。費用は8億か

ら10億円を予定。実質公債費比率24・6%と県下ワースト1の当市に「なぜ」と首をかしげる市民が多い。

**市長**

国は自治体の破綻を未然に防ぐための4指標を示した。身の丈以上のハコモノ建設は、慎重に考えるべきだ。

賛否両論あると思う。

せめてプロ二軍程度を誘致できる球場で、市民に夢と希望を持ってもらい

## 早期開院に向けて の取り組みを

**笠原**

「基幹病院問題は着実に前進している」との市長認識は甘い。県の担当者との懇談会でも「建設が進まないのは、医師確保の目的が立たないからだ」との発言があった。

**市長**

従来から心配していたことが現実化してきた。整形外科医不足など、地域医療は崩壊しているとの指摘もある。早期開院に向けた取り組みは。

平成24年度開通予定の八箇峠道路に合わせて開院を働きかけていく。六日町病院については市で継承していく方向を出したい。県と新潟大学との協定にある開院までの医師確保も強く要請する。



大原運動公園

## 知事「B.L米販売 批判」発言

答 深い憤りを感じている



南雲淳一郎議員

① 泉田知事は県議会特別委員会ではB.L米の評価を問われ、「B.L米という新品種に変えたのに、名称はコシヒカリ

のままにした。はっきりいうと情報隠しだった」と発言した。この県トップの異例の県農政批判に、農業関係者に大きな波紋が広がっているが。

② 来年度生産調整についてであるが、県間調整は制度的に取り組みやすくなつたと思うが。

③ 県内市町村との地域間調整の見通しは。

④ 生産調整推進体制に変更はないか。

### 市長

① 知事との認識の違いを感じている。また深い憤りを感じていもいる。立場をわきまえて発言してもらいたいと共に、今後このような発言がないことを願っている。

② 国が直接関与し、県間調整される方向が見えてきて喜ぶと共に、大きな期待を持つている。県には市の方針をしっかりと申し入れて

ある。今後の推移を見守りたい。

③ 例年通りの面積は望めない状況だが、しっかりと取り組みたい。

④ 国からは強い行政の関与が指導されると思うが、今のところ推進体制に変更はない。



## お館の景観を

答 間伐の方向で



遠山 力議員

天地人効果で、お客さんが大勢来てくれることは間違いない。坂戸山の頂上付近に上ってみれば、その見晴

らしに往時の戦略的重要なが理解できよう。また、そこそこにある壮大な遺構に、坂戸城跡のすばらしさを知ることだろう。しかしながら、一般的なお客さんは、果たして汗をかきながら時間をかけて頂上まで上ってくれるだろうか。坂戸山の麓を歩き回っただけで、坂戸城跡見学は終わりとしてしまうのではないだろうか。そうだとしたら、その

麓コースに2箇所、景観のすばらしいところを玉として作ってもらいたい。それは、お館の石垣様の前と内側、そして御居間屋敷である。

特にお館のあたりは、きちんと整備すれば観光客に強い印象を与えることができるはずである。邪魔になる杉を伐採するか、それがだめなら間伐・枝下ろしをして、麓が良く見えるようにすることを強く望むがどう

か。

早めに手をつけてもらいたい。

### 教育長

景観が大切なことは理解している。

土地を買うことは難しいので、地主の方にお願いでして間伐や枝打ちの許可をもらい、見晴らしが良くなるようにしていきたい。

交渉は早めを開始する。



石垣様から銭淵方面を見る

## 今後の生産調整について

**答** 関係機関と連携をとり



阿部 久夫 議員

- ① 来年の作付面積が大幅に減少される。本市においての配分見込みと対応について問う。
- ② 魚沼米といえども高価

格を維持していくのが難しいと考える。基幹産業である農業対策をどのように実施していくのか。

③ 生産調整に協力した生産者が報われるように、需給対策を強化し、需要に応じた米作りの実践が必要だが。

④ 生産調整について、行政の関与が薄いといわれているが。

**市長**

- ① 農業は市の基幹産業であり、県間調整や県内の地域間調整を図り、作付面積の確保や拡大を目指す。生産の拡大には関係機関と一緒に取組む。
- ② 全国一のブランド米を軸とし、産業としてなり立つ魅力ある南魚沼市農業をめざす。
- ③ 生産調整の未実施者については趣旨を説明して理解を頂き、実施者

のメリットを確保できるようにしたい。

④ 行政が強く関与する事は妥当でない。J Aや関係機関と連携を図り、きちつとした対応で取組む。



## 単身高齢者も安心して暮らせる街に

**答** 一層の努力をする



岩野 松 議員

ひとり暮らしの老人から、「今は一人で暮らすが、いつどうなるかと思うと夜も眠れない。つい睡眠薬に頼る。ますま

す深みに落ち込む。物忘れもひどくなり、大事な書類の探しごとの連続だ。特養施設も高く、国民年金やそれに近い人には入居できる額ではない。私みたいな人がたくさんいる。何とかしてください」と訴えられた。

宅老所発祥の長野県は、「高齢者向優良住宅」の建設を含めたマニュアルがある。佐久市は高齢者支援メニューが94もある。本市は7つしかない。

**市長**

新潟県の福祉は非常に低い。市の75歳以上の独居老人466人もいる。安心して暮らせる対策をつくらべきでないか。

福祉は長野県が進んでいるが、旧大和町時代は全国的にも有名で、それと並び称された。誇るべき施策と思って、それを進めている。一層の努力をする。

## 地域経済の活性化は

**岩野**

そこに住む人が豊かではじめて地域経済は潤う。最近の雇用条件は全て時給・日給だ。何とかならないか。

**市長**

パート労働法にそって対応し、企業に発信していきたい。



## 天地人収録と観光施設建設について

**答** 放映後の地域振興も踏まえる



宮田 俊之議員

① NHKで放映された、風林火山の舞台でもある山梨県甲府市の放映内容に基づくテーマイベントや、北杜市の口

ケ地見学の風林火山館設営の取り組みが、当市の天地人による誘客事業のモデルとなっているが、実際の口ケ地とならないと誘客は困難と考える。  
新設予定の伝世館はNHK側に口ケが可能なおセットを市費でも造ってもらうくらいの熱心さが必要ではないか。  
また雪景色、新緑風景で収録の可能性があ

るが、働きかけは十分行なっているのか。  
② 意義は理解できるが、新しい建物には運営が必要となり、観光、宿泊業への経済効果など、客観的かつ慎重な検討が必要と考えるが。  
③ 受け入れ体制やドラマによる誘客で、先進地である上越市との合同講習会も必要。

① 伝世館は直江兼続公の生き様の素晴らしさを、ドラマ放映時の観光客だけでなく、その後も市民に広くこの精神を知らしめる施設として活用したい。  
② 50〜100万人が放映に合わせ当市を訪れると予想して、大きい目標で取り組む。  
③ ガイド研修も行なったが、旅行商品についても、エージェントに依頼してある。



「風林火山」を楽しむガイドブック

## 職員給与の引き上げ理解できない

**答** 理解を求めてゆきたい



牧野 晶議員

市民への補助金の削減や、公共事業の抑制という事で、市民サービスの一部制限や実質公債費比率県内ナンバーワンの中

で、なぜ給与の引き上げをするのか。  
市民には我慢を求めて身内には甘いと考えられてしまうが。

は、団体にとっては痛手だと思いが、理解の範囲だと考えている。  
公共事業については、削減という事でなく、事業年度を先送りしているだけなので、事業を中止しているという事ではない。

市民や市民団体に補助金の一部削減をお願いしているが、この事によって弱者にシワ寄せがでたようにした事はない。もし出てくるような事があれば早急に是正する。  
補助金を減らされた分

市民の理解を求めてゆきたい。

市民の理解を求めてゆ

### ※人事院勧告とは…

民間企業は、労働組合と使用者側の交渉（春闘など）により給料が決定されますが、公務員は労働基本権（ストライキ権など）が制約されているため、その代償措置として公正な判断をし、給与勧告を行うための第三者機関として人事院が設けられています。

人事院勧告とは「国家公務員の給与・勤務条件などの待遇の改善について、人事院が国会及び内閣に勧告する」ことを言います。

## 不登校対策の教育相談、 教育支援の充実を

**答** 体制の強化を考える



佐藤 剛 議員

当市の不登校の状況は、50日以上学校に行けず、また適応指導教室にも行けない児童生徒の数も多い。

加えて年間1千800件超の教育相談があるが、義務教育終了後は、これらの相談窓口も市にはない。

私は、教育は最終的には生きる力を育み、人間として自立し、社会参加していく手立てだと考える。そういう意味で不登校対策としての教育相談、適応指導教室の充実が、教育の原点だと思いが、現在の体制で対応できるか。

**教育長**

教育相談、適応指導教室の体制は不十分と思うので体制強化を考える。

## 交通空白地域の 対応は

**佐藤**

福祉バス等は充実され、平坦地は概ね公共交通は確保された。

しかし65歳以上の高齢人口が全人口の30%台後半から47%近くと、急速

に高齢化が進んでいる地域は交通の空白地域でもある。こういう地域こそ優先的な対応が必要だと思いが、どう対応するか。

**市長**

後山、辻又、栃窪、岩之下、清水は地域コミュニティ事業を別枠で考えている。その中で対応できるか、現行の福祉バス等で対応が可能かも含め検討する。



福祉バス

## 生産者米価の下落と 農業情勢について

**答** 市場原理を一部容認するが  
家族経営は守る



笛木 信治 議員

①政府は市場原理を主導とした米価対策をやめて生産費を保障し、米価の下支えを明確にした対策をとるべきと思

うが。

②南魚沼市の米価下落の影響はどうか。品目横断的経営安定対策の価格保障にどれだけの農家が対象になるか。  
③農業振興策で支援策を。

**市長**

①国際的な市場原理のもとに米価をさらすのは問題があるが、国内的問題にはやむを得ないと考える。家族経営は守る。  
②認定農家、集落営農組

**教育長**

教育相談、適応指導教室の体制は不十分と思うので体制強化を考える。

## 交通空白地域の 対応は

**佐藤**

福祉バス等は充実され、平坦地は概ね公共交通は確保された。

しかし65歳以上の高齢人口が全人口の30%台後半から47%近くと、急速

に高齢化が進んでいる地域は交通の空白地域でもある。こういう地域こそ優先的な対応が必要だと思いが、どう対応するか。

**市長**

後山、辻又、栃窪、岩之下、清水は地域コミュニティ事業を別枠で考えている。その中で対応できるか、現行の福祉バス等で対応が可能かも含め検討する。

市民生活への支援を。

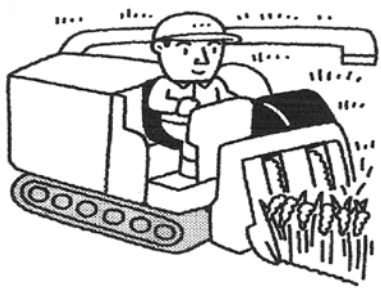
政府に対し対応を求め、国際的投機マネー抑制のルール確立の要求を。

**市長**

国の対応策もあり、支援する方向で検討している。独居老人世帯等については早急に対応策を決め、1月15日号広報で知らせる。

機会あれば国には実情を伝える。国際ルール、

気持ちはわかる。



# 認定こども園の活用は

**答** 理解を得て進める



山田 勝議員

幼稚園・保育園の運営と園児の育成について  
①認定こども園の今後の活用は。  
②園児減少と施設老朽化

に伴う学区と同様の再編の考えは。

③園児の安全優先と、保育・教育目標との整合性は。

④保育・教育の質の確保は。

**市長**

①制度について、保護者によく説明し理解を得る。意向調査を行い進める。施設は公設民営を考えている。

②具体的な検討はしていない。今の学区を越え

ての再編は考えていない。

③のびのび育つことが大切だが、社会の現状からすると玄関施設はやむを得ない。運動会や発表会などで開かれた園運営を目指す。

④臨時、正職員比を現状のまま維持し、質の確保に努める。

# 筋力づくり教室の普及を

**山田**

「いつでも、どこでも誰でもやれる筋力づくり体操」を普及し、効果を具体的に検証すべきだ。

**市長**

きめの細かい教室開催に向けて努力をする。サポーターの養成やサポーターの会を支援する。効果を具体的に調査できるか検討をする。

# 多重債務への相談窓口を強化せよ

**答** 検討してゆく



中沢 俊一議員

多発する凶悪な事件や、年間3万人に上る自殺者の背景には、サラ金など多重債務が関係する例が少なくない。

格差社会が広がり、「自己責任」から「社会問題」となる中で、国は市町村に2年以内に、専門の相談窓口を設けるよう指示した。

以下3点から窓口強化を促したい。  
①社会責任として債務の軽減等に市が助言すべし。  
②法定利息を超えて返済した分は申告により還納があれば、これから

徴収可。

③国・県税の徴収係が②に目を付け始めた。彼らは債務者の更生を考えず「身ぐるみ」はいでいく。市民の生活権を守る意味からも早目の対応を望む。

市の窓口設置の成果は評価するが、氷山の一角だ。潜在的対象者は500人近いと思うが。

**市長**

必要性は理解しており、市では消費者生活相

談窓口を試験設置して、2名の相談員で対応している。

そして、多重債務の特集チラシを市内全域に配布したら相談が急増している。

相談にあたっては、市内司法書士との連携をしながら対応している。

窓口の常設化については検討していくが、試験設置の今の状況をもう少し精査させていただきたい。



消費生活相談センター（サンライズ南魚沼）



浦佐保育園

## 原油高騰対策に「福祉灯油」の実現を

**答** 生活困窮者に  
早急実施を検討

中沢 一博議員

原油価格の高騰が市民生活や中小企業を直撃している。我々豪雪地域にとってみれば、大変な大打撃を受け、深刻さを増

している。

そこで特に高齢者や障がい者、母子家庭など生活困窮者といわれる方に、福祉灯油の早期実現を構るべきと考えが。

また、中小零細企業の資金繰りの悪化に、政府機関からの借入金返済条件の緩和、また信用保証協会の繰り延べを要請する等、積極的緊急対策が急務と考えるが。

**市長**  
中小零細企業の配慮等

は国の制度資金の条件緩和の中で柔軟に対応していく。

福祉灯油は特に生活困窮者の方を優先的に、早急に対応する。

### 全小中学校にAEDの普及推進を

中沢

平成18年3月議会でも、命を守る「AED」を全小中学校に早期設置を求めた。心肺停止から1分以内に手当ができ

れば、90%の人が社会復帰でき、1分遅れるたびに可能性は10%ずつ下がる。正に時間との戦いである。

当市の地理的条件を考えた時、一日も早い設置を再度提言するが。

**市長**

AEDは現在公共施設に14台配置し、イベント等にも貸し出ししている。至急平成20年度予算に全小中学校に配置するよう検討していく。

## 米作農業の振興について

**答** 生産量の拡大を目指す

腰越 晃議員

米価の下落が今後も続けば、更に経営体の規模拡大とコスト削減が必要。そして当市に多い兼業・小規模農家の生き残

りは難しい。市では生産調整の緩和措置を国県へ要望し、産地間調整による生産量の拡大を進めている。

現在の品目横断的経営安定対策に対しても疑問は残る。当市が取り得る、あるいは取り組むべき米作農業の施策のあり方について考えは。

**市長**

米価の安定を図るために需要調整に努め、生産調整を守ってきたが、本

来は「適地適産」100%作付けし、畑作は転換可能な地域で担ってもらうことが望ましいが、来年度以降もまだ生産調整が継続することをおこなう前提におかなくてはならない。「県間調整」に期待をかけ、国県に強く要望していく。

品目横断的経営安定対策に沿って進めてきた担い手の育成、集落営農に努めていく。こうした方向性は推進すべしと考え

ている。一方で、小規模農家への下支えについても、検討を進める。

販売はこれまでの全農の委託方式から、各JA中心の販売方式に徐々にシフトしてきており、単協独自の販売方法や手段について、市としてバックアップしていきたい。

また市内の酒造会社、餅加工業者の要望にも応じていくために、酒米・モチ米の作付け拡大に取り組んでいる。



	佐藤剛	今井久美	宮田俊之	高橋郁夫	山田勝	関常幸	中沢一博	寺口友彦	遠山力	牧野晶	関昭夫	腰越晃	阿部久夫	井上正三	樋口和人	南雲淳一郎	種村充夫	岩野松	笛木信治	牛木芳雄	和田英夫	笠原喜一郎	中沢俊一	峠佳一	角谷英一	阿部俊夫	駒形正博	若井達男	松原良道	上村一郎	
	市民クラブ	政策集団かたり	こぶし会	こぶし会	つじクラブ	つじクラブ	南政クラブ	市民クラブ	政策集団かたり	こぶし会	こぶし会	こぶし会	こぶし会	つじクラブ	南政クラブ	南政クラブ	南政クラブ	共産党議員団	共産党議員団	市民クラブ	市民クラブ	政策集団かたり	政策集団かたり	こぶし会	こぶし会	(無党派)	つじクラブ	南政クラブ	南政クラブ	南政クラブ	
	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○

	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	
	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	
	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○

	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	
	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	
	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○



# 12月議会 主な議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(※議長は議案裁決に加わりません。)

議員氏名 (議席順)	会派	採決結果
---------------	----	------

## ◎議案

第 103 号議案	南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
第 104 号議案	南魚沼市職員の旅費に関する条例の一部改正について	可 決
第 105 号議案	南魚沼市農業委員会の定数等に関する条例の一部改正について	可 決
第 106 号議案	八海山麓観光施設条例の制定について	可 決
第 107 号議案	平成 19 年度南魚沼市一般会計補正予算 (第 3 号)	可 決
第 108 号議案	平成 19 年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	可 決
第 109 号議案	平成 19 年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)	可 決
第 110 号議案	平成 19 年度南魚沼市下水道特別会計補正予算 (第 2 号)	可 決
第 111 号議案	平成 19 年度南魚沼市水道事業会計補正予算 (第 2 号)	可 決
第 112 号議案	平成 19 年度南魚沼市病院事業会計補正予算 (第 2 号)	可 決
第 117 号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について (再任: 角谷正雄)	同 意

## ◎請願・陳情

請願第 10 号	後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願 (請願者: 新潟県社会保障推進協議会 会長 坪谷誠) (紹介議員: 笛木信治)	不採択
請願第 11 号	平成 20 年度政府予算において、消費税の税率引き上げをおこなわないことをもとめる請願 (請願者: 消費税廃止新潟県各界連絡会 代表 能登惣五郎) (紹介議員: 岩野松)	不採択
請願第 12 号	米価の安定対策を求める請願 (請願者: 農民運動新潟県連合会 代表 町田擴) (紹介議員: 笛木信治)	不採択
請願第 13 号	防災・生活関連整備の地域間格差を無くし、安全安心な公共事業を国の責任で実施することを求める請願 (請願者: 国土交通省全建設労働組合 北陸地方本部六日町支部 支部長 笠原和仁) (紹介議員: 中沢俊一 牛木芳雄)	採 択
請願第 14 号	新テロ特措法案を撤回し、アフガニスタンへの民生支援の強化に関する意見書提出を求める請願 (請願者: 憲法を守る新潟県共同センター 代表 能登惣五郎・山崎栄三) (紹介議員: 岩野松)	不採択
陳情第 3 号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情 (陳情者: 新潟県保険医会 歯科部長 浦田治)	採 択

## ◎議員発議案

発議第 20 号	平成 20 年度政府予算において、消費税の税率引き上げをおこなわないことをもとめる意見書の提出について (提出者: 岩野松)	否 決
発議第 21 号	米価の安定対策を求める意見書の提出について (提出者: 笛木信治)	否 決
発議第 22 号	防災・生活関連整備の地域間格差を無くし、安全安心な公共事業を国の責任で実施することを求める意見書の提出について (提出者: 笠原喜一郎)	可 決
発議第 23 号	新テロ特措法案を撤回し、アフガニスタンへの民生支援の強化を求める意見書の提出について (提出者: 岩野松)	否 決
発議第 24 号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書の提出について (提出者: 牛木芳雄)	可 決
発議第 25 号	所得税の 10%定率減税の復活を求める意見書の提出について (提出者: 寺口友彦)	否 決
発議第 26 号	米作農業の「農業所得確保政策」の実施を求める意見書の提出について (提出者: 阿部久夫)	可 決
発議第 27 号	道路整備財源の制度堅持に関する意見書の提出について (提出者: 樋口和人)	可 決

# 魚沼基幹病院

## 県へ要望書を提出しました

1月17日に魚沼市議会・湯沢町議会と共に、泉田知事と長津県議会議長に、要望書を提出してきました。

を尽くす。医師確保体制を基本計画の中で具体化し、院長の人選も進めたい」と返答されました。

知事は「平成20年の予算編成の中で、スケジュールが見えるようにしたい。要望に沿えるよう全力

要望書提出後の1月23日に、県は平成27年6月開院を目標として取り組む方針である、との発表がされました。



### 要望書（抜粋）

- 1 魚沼基幹病院（仮称）の開院時期を早期に示していただきますようお願いいたします。
- 2 魚沼基幹病院（仮称）に必要な用地買収等を含めて、早期に着工していただきますようお願いいたします。
- 3 市内の公立病院においても医師不足をきたしている現状から、平成19年3月29日に新潟大学と新潟県の間で締結した覚書第2第5項に基づいて、地域の医療提供体制の確保のために医師確保及び医師の派遣について、ご高配をお願いします。

南魚沼市議会 議長 峠 佳一

## 平成27年6月頃 開院目標

### 県の目標スケジュール

- 平成20年2月 平成20年度予算に基本計画策定費計上
- 平成20年夏頃 病院長選定
- 平成20年度中 診療機能や研究機能などを明示
- 平成21・22年度 設計
- 平成23年度 着工
- 平成27年6月頃 開院

## 3月議会

3月4日(火)より19日(水) (予定)  
…詳細は議会事務局へ  
(☎773-6650)

議会広報編集特別委員	
委員 長	牧野 晶
副委員 長	佐藤 剛
委員	宮田 俊之
高橋 郁夫	中山 一博
遠山 淳一郎	南雲 力
岩野 松	

### ◇編集後記◇

4年任期の2年が経過し、議長や常任委員会も入れ替わり一新した12月議会でした。  
5%以上の政府系借入金金の借り換えが可能になり、実質公債費比率県最悪からまぬがれる財政シミュレーションも示されました。

一般質問だけでなく、予算関連の質疑等もできるだけわかりやすく、読みやすいをモットーに取り組み、一字一句にも気を配り編集しているつもりであります。…が、前号12号(11月1日号)の18頁(総務文教委員会)に、「②福島県米沢市」とありました。「山形県米沢市」の間違いであります。訂正して深くお詫びいたします。

これからも、一同気を引き締めて編集にあたり、気をつけます。

編集委員 岩野 松